

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／生活文化論 (Life and Culture)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	衣食住をはじめとした現代社会の文化社会学的検討		
担当者名 (Instructor)	田中 理恵子(TANAKA RIEKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	他学部生用(人数制限: 50名) 社会学部生は科目コード登録にて申し込むこと		

#### 授業の目標(Course Objectives)

私たちが日常的に接している生活文化について、その意味や価値をとらえなおすための思考力を養う。

Students will cultivate thinking skills to re-examine significances and values in their everyday life cultures.

#### 授業の内容(Course Contents)

本講義では、私たちの日常生活をかたちづくる多様な題材を取り上げ、現代社会の文化的諸相を明らかにする。「衣食住」をはじめとする消費文化、家族やジェンダー、メディアや言語文化、娯楽やポップカルチャーなど身近な話題と、グローバル化やポストモダン文化との関連性を検討する。

In this lecture, students will select various materials that form our daily lives to clarify various cultural phenomena in modern society.

Students will discuss relationships between globalization, post-modern culture, and daily topics such as consumer culture (clothing, food, housing), family, gender, media, linguistic culture, and entertainment.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 都市文化・テクノロジーの進展と服飾革命
3. 20世紀の生活文化と服飾
4. 戦後の消費文化とモード
5. 「多様な社会」のメディアとモード
6. グローバル化とファストファッション
7. 日本の食生活文化の変遷
8. 「豊かな社会」の食に潜む問題—食のファスト化を問う—
9. 食文化の現在—フードシステムの課題・スローフードの可能性—
10. 住宅と暮らしの文化を考える
11. 「時間貧困」と「関係貧困」①—日本型ジェンダーセグリゲーションを考える—
12. 「時間貧困」と「関係貧困」②—ワークライフアンバランスな日本社会を考える—
13. ポップカルチャーと大衆消費社会
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

準備学習の指示は、第1回目のガイダンスや講義で適宜指示するほか、特に必要がある場合は履修登録後に Blackboard 上で履修者に対し行う。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / リアクションペーパー・受講態度(40%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 水無田気流、2020、『居場所』のない男、「時間」がない女』、ちくま文庫 (ISBN:978-4-480-43656-6)

#### 参考文献(Readings)

1. 水無田気流、2020、『背表紙の社会学』、青土社 (ISBN:978-4791773244)
2. 水無田気流、2021、『多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論』』、日本経済新聞出版 (ISBN:978-4532177003)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

第1回ガイダンスには必ず出席すること。

